



図書だより 12月号

川薩清修館高等学校図書館
令和5年12月発行

冬休み特別貸出

貸出冊数：5冊まで
返却日：1月9日（始業式）

3年生は1月中に
全ての本を返却してくださいね



BOOK OF THE YEAR



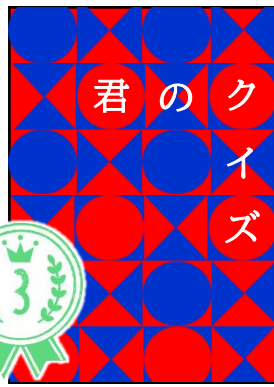
「成瀬は天下を取りに行く」 宮島未奈/新潮社

— かつてなく最高な主人公、あらわる！ —

中2の夏、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。中継に映るために閉店を控える西武大津店に毎日通い、M-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると宣言。我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！



「世界でいちばん透きとおった物語」
杉井光/新潮社



「君のクイズ」
小川哲/朝日新聞出版



「鵲の碑」
京極夏彦/講談社



「黄色い家」
川上未映子/中央公論新社



「777 トリプルセブン」
伊坂幸太郎/KADOKAWA



「禍」
小田雅久仁/新潮社



「この夏の星を見る」
辻村深月/KADOKAWA



「レーエンデ国物語 月と太陽」
多崎礼/講談社



「長い夜の国と最後の舞踏会」3
桜瀬彩香/オーバーラップ

図書委員の
これ読んで!

「グラスホッパー」

伊坂幸太郎/KADOKAWA

グラスホッパー

「押し屋」と呼ばれる殺し屋、「押し屋」を追う教師の「鈴木」、自殺専門の殺し屋「鯨」、ナイフ使いの若者「蝉」。「鈴木」「鯨」「蝉」の3人が交差するとき、物語は唸りを上げて動く。

テンポ感が良く、伏線がきれいに回収されるので、伊坂先生の本を初めて読む人におすすめです。

図書委員会クリスマス企画 **フシゼントツリー**



サンタさんから欲しい物を
付箋に書いて貼ってね♪

職員室前の掲示板を
チェックしてね!



ここに付箋を
用意しています

七夕みたいに
なってる人も
いるけどね



「猫の診察で思いがけないすれ違いの末、
みんな小刻みに震えました」
やーこ/KADOKAWA

「猫の診察で泣きそうになった話」
「新幹線で座っていたら予想のつかない
事態になり悔しい思いをした話」
「カツアゲにあった話」
「男が玄関に入ってきて悲鳴を上げた話」
など話題作の他、とにかく笑える話だけを
集めた短編集!
思わず笑っちゃう可能性があるので、朝
読書で読むときは注意を!!

猫の診察で
思いがけない
すれ違いの末、
みんな小刻みに
震えました



今月のダ・ヴィンチ

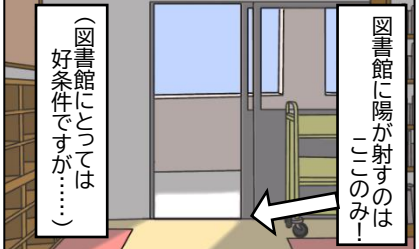
- BOOK OF THE YEAR 2023
- 今年の「顔」インタビュー
神木隆之介, 松平健, 河村勇輝
- 『【推しの子】』アイ 生前の幻のインタビューを大公開!

他にも盛りだくさん!

BOOK OF THE YEARで
様々なジャンルの
ランキングを
チェックしてね



ひなたぼっこ



今回の漫画、背景を描く部分が多くて挫けそうでした。